

上田市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時

令和2年12月16日（木） 午後3時00分から午後3時32分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	横 関 妙 子
委 員	綿 谷 憲 一
委 員	森田 小百合

○ 説 明 員

中澤教育次長、池田教育参事、山賀教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、樋口武石地域教育事務所長、小泉中央公民館長、小坂第一学校給食センター所長、小山西部公民館長、浅野上田図書館長、柳原上田情報ライブラリー館長

1 あいさつ

コロナウィルス感染第3波の中で歳の瀬を迎えた。この度、2件の不祥事が起きたことについて、教育委員の皆さまには大変ご心配やご迷惑をお掛けした。本日午前10時から臨時の校長会を行い私から訓示をした。二度とこのような事件が起こらないよう、気持ちをさらに引き締めて進めてまいりたいと思う。机の上に置かせていただいた資料「人倫徳育 問津時（しんをとう）」というものは、信州教育信頼回復に向けた行動計画というものがあり、私が現職で勤務していた折に学校職員に示した内容であり、こちらを合言葉に綱紀肅正していこうということで作った6年前のものである。人倫徳育は記載したとおりのものであるが、問津時は論語の中からとっている。「津」は船着場のことであり、孔子が弟子の指導に船着場の場所を聞いてきなさいと言うところから端を発した言葉である。その言葉をもとに、これから上田市内の教育の部分全てを共有しながら綱紀の保持に努めてまいりたい。

なお、本日の定例会の終了時間は15時30分をお願いしたい。そこで、次第の中にある城南公民館の説明は次回にまわしたいと思う。また、協議会に切り替えて行う12月市議会的一般質問の内容についても15時30分を過ぎてしまった場合は1月に続きを回したいと思う。このような事情で今日は時間が大変厳しいので、説明してもらおう課長、所属長の皆さんは1事項5分ぐらいでお願いしたい。

2 協議事項

なし

3 報告事項

(1)第27回全国山城サミット上田・坂城大会実施報告（生涯学習・文化財課）

○資料1により竜野生涯学習・文化財課長説明（要旨）

資料1をご覧ください。本大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止を前提にして、講演会、シンポジウムはオンライン講演会で、また、山城ガイドツアーは参加者を県内に限定して開催した。ガイドツアーは資料にもあるように130人定員のところ、参加者は148人、オンライン講演会についても延べ1万回ぐらいの視聴があった。今回は、山城サミット初めての取組であったが、大勢の皆さまに山城を楽しんでいただけたこと、地域の山城、新しい魅力の発信ができたことで私どもは一定程度の成功と考えている。来年度の山城サミットについては、実行委員会と共に山城ガイドツアーを中心に開催し、全国のお客さまをお迎えしたいと考えている。今後、保存会の皆さん等の支援をしながら、魅力を発信することに努めていきたいと考えている。

峯村教育長

ただ今の報告事項についてご意見等をお願いしたい。

横関委員

このサミットが成功してよかったと思う。ガイドツアー、親子での参加はどのくらいか。

竜野生涯学習・文化財課長

今、手元にないので調べてお伝えする。

横関委員

来年ガイドツアーを行うときにはぜひ学校の方へも広報活動をしていただきたい。コロナ禍だからこそ、このようなイベントが必要だと思うのでお願いしたい。

峯村教育長

このイベントは今年で終わりではなくて、市民の皆さんと協力をしながら末永く続けていければと思う。

ほかにはいかがか。

○全員了承

(2)令和2年度「成年善行表彰」及び「家庭の日」の作文審査結果報告について（報告） （生涯学習・文化財課）

○資料2により竜野生涯学習・文化財課長説明（要旨）

資料2をご覧ください。

- 1 青少年善行表彰については、毎年度子どもたちの善い行いを地域の方々がつなぎ、人々に知っていただきたいことから上田市で表彰を行っているものである。今回については、資料の表のとおり、団体・個人ということで西内小学校の金管バンド、第五中学校2・3年生徒会、第一中学校の小金澤柚月さんを表彰させていただいた。いずれも自分たち自身で感じて何ができるのかを考えた結果、このような結果ができたことである。
- 2 「家庭の日」の作文について、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、明るく健やかな家庭づくりを推進している。この取組の啓発、定着を目的に毎年「家族・家庭」をテーマに小中学生から募集している。今回は、598点と多くの皆さんに参加をいただいた。優秀作が3点、優良作品9点として、今回、たまたま広報を見て青木村からも参加をいただいた。そちらについても作品を拝見させていただいたところ、優れているというところから特別賞を今回初めて設けさせていただいた。入選されなかった皆さんも含めて、作文を書くということで家族・家庭の大切さをあらためて思い返すことが考えられたと思っている。今後ともこの取組を続けてまいりたいと思っている。
- 3 青少年善行表彰及び「家庭の日」の作文の表彰式については、去る11月28日（土）に新型コロナウイルス感染症拡大防止をとりながら行った。

峯村教育長

ただ今の報告について、ご意見のある方はお願いしたい。

横関委員

青少年善行で表彰された小金澤柚月さんは、サマーチャレンジボランティアに参加していた。そのこともあり利用者さんだと分かり助けたこと、その行いは大変すばらしいと思う。ボランティア活動でありがとうと言われることで自己肯定感が高まると思う。学校活動の中でもぜひボランティア活動を通してこのような自己肯定感を高め、善行ができるようなことがさらに増えれば良いと思っている。

「家庭の日」の受賞作品について小学生が1人しか見当たらず、こちらに関して小学校で特に優秀なものが出なかったということか。

竜野生涯学習・文化財課長

作品の精査について厳選に行った結果、今回は小学生の中にはなかったというよりは、中学生の作品が優れていたということで結果としてはこのような形になっている。

横関委員

小学校ごとでも違い、学年ごとでも違うかと思うが「賞を取る」ということは子ども達にとって大変嬉しいことだと思う。認めてもらえるという良い機会なので、このあたりの審査は今後どのようにしていくか検討していただければと思う。

峯村教育長

ご要望としてお伺いする。
ほかにはいかがか。

○全員了承

(3)第二次上田市スポーツ推進計画の策定状況について（スポーツ推進課）

○資料3により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

1. 目的

平成23年度から10か年の計画である、上田市のスポーツ振興の指針となる「上田市スポーツ振興計画」が令和2年度で終了することから、令和3年度からの10年間「第二次上田市スポーツ推進計画」を策定するものである。3に記載のあるとおり、昨年度にスポーツ推進審議会へ諮問をし、アンケート調査を経て今般、素案がまとまったのでパブリックコメントを来年の1月末に実施の予定である。そのようなことから中間の報告として申し上げるものである。

2. 基本的な考え方

基本理念、基本目標、数値目標を記載しているのでご覧いただきたい。基本的な理念、目標については基本計画と同じである。数値目標については、アンケート調査また実績に基づき設定をしていく。

2枚目の資料をご覧いただきたい。第二次上田市スポーツ推進計画（案）だが、5章の組み立てで計画をしている。第1章では計画の概要、第2章で現状と課題として整備を行い、第3章では計画の基本的な考え方、第4章で課題を踏まえた具体的な施策として、それぞれ具体的な施策あるいは具体的な取組を掲げて、第5章で計画推進につながる意向を記載している。このような形で推進計画を策定している。

峯村教育長

ご質問ご意見があれば出しいただきたい。

横関委員

数値目標だが、どのように値を決めたのかお聞きしたい。

池田スポーツ推進課長

先ほど申し上げたとおりアンケート調査を行った。アンケート調査に基づいてそれより若干高い数値目標を掲げている。また、スポーツ施設の利用者数、あるいは奨励金の交付件数、スポーツクラブの会員数等々については実績から少し上乗せのところでの補正ということである。

特に施設の利用者数については、スポーツ人口、スポーツをやられる人が少なくなってきたという現状から、利用者数も130万人いたものが数年前から120万人台に落ち込んできている。そういったところから、もう一度多くの方に身体を動かして、健康増進につなげていただけるような設定をしている。

横関委員

基本目標にある4スポーツを通じた地域づくりと交流拡大と記載があるが、今まではスポーツに係る人材育成とスポーツを支える地域づくりになっていたと思うが、第二次のスポーツ推進計画の策定になって、スポーツを通じた地域づくりと交流拡大が入ってよかったと思う。支えること、つなぐということはとても大事なことだと思う。高齢者が増えていく中で観て楽しむことも、応援することで共に喜んだり、悲しんだりすることもスポーツをすることになるかと思う。4に入ったことはよいことだと思う。

また、これから国体もあるが、それに向けてボランティアの育成をしていただいて、上田市が活性化できればよいと思う。

峯村教育長

温かいご意見であった。

ほかにはいかがか。

池田スポーツ推進課長

今お話があったとおり地域づくりについては、ラグビーのワールドカップということで菅平があらためて注目されたということ、また、国体に関しても計画の中に載っており、競技場の向上、またボランティアの面でもお伝えしているので、そのような形で計画を策定して進めていきたいと思う。

森田委員

このスポーツ振興計画は、生涯スポーツ社会へ大きく変わり推進していくということで、いろいろな取組をこれからしていくと思うが、外から見て市民が、上田市はどのように生涯スポーツ社会に力を入れているのかが明確に分かるような発信の仕方をお願いしたい。上田市がどこを目指して一番注力しているのかを明確にすること、そういった点が市民になかなか伝わらないことが多いのでは、検討を進めていただきたい。

池田スポーツ推進課長

今般の計画の中には情報発信についても記載があり、どのような方法がよいのか、こちらは審議会の中でも議論があったところだが、年代によって広報がよい、あるいは若い方などにはSNSやFacebookなどの媒体を使った形の方が見やすいなどさまざまなお話があった。広報あるいはSNSなどのソーシャルネットワークの情報発信が良いのか年代ごとによって変わってくるので、何らかの方法を相談しながら進めていきたい。

綿谷委員

生涯スポーツ社会の実現について、いろいろなスポーツ施設の利用や目的があるわけだが、スポーツも多様化してきている。このようなことがスポーツなのかというようなものがスポーツになってきている。これからは、今の若い人たちが年を重ねて健康づくりをする中では、だんだんとスポーツの中身も変わってくる。そのようなところをこれから先、多様化している中

でのスポーツを検討されて、若い人たちをもっと引き入れていくことも非常に大事なことだと思う。新しいスポーツをいろいろなところへ発信していくことも大事なことだと思う。そのあたりも検討いただきたい。

池田スポーツ推進課長

今お話があったとおり、いろいろなスポーツの種目が多様化している。人口減少の状況の中におかれて少子化というようなところも含めて、スポーツに取り組む市民皆さまの人口も減ってきている。一方でスポーツ種目の多様化ということで、1つの競技を抱える人口が大変少なくなってきた学校もそうだと思うが1つの団体として試合に出られない状況もある。また、一方で広くスポーツという言葉が捉えられていて、eスポーツについて我々は年代的にテレビゲームという感じだが、それもeスポーツという形で世界大会という状況で開かれる。ただ、eスポーツを我々が捉えているスポーツと同義として捉えるのは少し無理かと思っている。そういったところも考えながら取組を進めていきたいと思う。また、アンケート調査について申し上げるが、1500人にアンケート調査をとりご回答をいただいた。その中でいちばん多かったのが、昔は団体スポーツ、あるいは団体スポーツでなくても皆で行ってスポーツに取り組むというようなことが多かったと思うが、今は年代の差がなくて個人で取組む、例えば、ウォーキングや散歩というような意見もあったが、1人でいつ何時でもできるようなもの、そういった施設がほしい、そういったことの機会がほしいという結果があった。だんだんとスポーツに対する皆さまの捉え方、望み方が変わってきているという状況なので、そういったことも踏まえながら進めていきたいと思う。

横関委員

新しいスポーツでブレイクダンスがあるが、そういうようなことも入れていただくと子どもたちも喜ぶと思う。

池田スポーツ推進課長

今回この計画の中に個別のスポーツというものは入れていない。そういったお話は、具体的な施策、具体的な取組のところの中で申し上げていきたいと思う。

○全員了承

(4)令和2年度第60回上田市短詩型文学祭実施報告について（中央公民館）

○資料4により小泉中央公民館長説明（要旨）

こちらは市の文化活動の振興、地域文化の向上を図ることを目的としているが、今回は60回目の節目として盛大に開催させていただいた。結果については、飛躍的に増加していて昨年と比べて1,057名の増加となり約40%の増加があった。すでに受賞作品の選考を行い、それぞれの受賞作品については決定しており、事前にお配りした資料、作品集の中にそれぞれの該当者が記載されている。残念であるが、新型コロナウイルス感染症対策のため、表彰式等については中止とさせていただいた。一般の部の方については公民館まで賞状、盾の受け渡し、あるいは送付等により対応させていただいた。小中学校については各学校へお届けし、担任の先生から該当の児童生徒へ渡していただいた。

峯村教育長

質問、ご意見等があればお出しいただきたい。
なければよろしいか。

○全員了承

(5) 第二次上田市子ども読書活動推進計画の策定について（上田市立図書館）

○資料４－２より浅野上田図書館長説明（要旨）

資料４－２と冊子になっている資料がある。第二次上田市子ども読書活動推進計画の策定についての素案がまとまったので、本日はＡ４資料１枚で内容の説明をさせていただき、次回の定例教育委員会でご意見をいただきたく資料を出している。Ａ４の資料をお願いしたい。

１ 計画の策定の考え方

- ・ 本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づくということ。また、第二次上田市図書館基本構想の計画ということである。
- ・ 現計画は平成２６年２月に策定している。その現計画の継続性を図りながら、現状課題を踏まえ必要な見直しを行い、計画を策定すること。
- ・ 国では平成３０年４月、また県では令和２年３月に「第４次の計画」という読書活動推進計画を持っており、これらの内容を踏まえて策定した。

２ 計画の概要

こちらは大きく分けて、第１基本的な考え方、第２これまでの主な取組と課題、第３子ども読書活動推進のための取組、最後に用語集、資料編の構成にしている。

第１ 基本的な考え方については四角の枠の中(1)から(5)までであるが、計画策定の趣旨として、(1)読書環境の現状と課題、(2)では計画の基本方針として取組を行う上での基本的な考え方、(5)取組目標の設定については、読書活動推進状況を客観的に把握する指標について記載をしている。

第２ これまでの主な取組と課題については、県計画があるので関係各課の意見徴取等を行い、主な取組と課題について(1)から(4)の項目これが現計画の柱であるが、それについて記載をしている。

第３ 子ども読書活動推進のための取組はこれからの計画と取組であるが、こちらについても(1)から(4)について、新規、充実、継続した取組について記載をしている。項目、内容については、資料の下段に(1)、裏面には(2)、(3)、(4)の記載がある。最後に用語集と資料編ということである。

３ 今後の日程

１２月から１月にかけて、教育委員会、その他関係機関からご意見をいただく予定である。また、パブリックコメント等についても調整を行っていきたいと思う。できれば２月には計画を決定し、３月には計画の公表と進められたらと考えている。

峯村教育長

ただ今、計画と内容について説明があった。教育行政評価、自己評価Ｃということで委員の皆さまには大変心配をお掛けした事業である。内容については次回ご意見をいただくということで、Ａ４ １枚の資料の内容とご質問についても次回にお出しいただきたい。

北沢委員

冊子の２ページ、３ページを見ていただきたい。例えば、２ページの第２(１) 家庭・地域の
ア主な取組があつてイの課題がある。ところが、今の説明には資料の１のところ、計画策定と
考え方２番目の「・」で現状及び課題を踏まえ必要な見直しを行い、計画を策定すると記載が
あり最も当然のことだと思う。ところが冊子の２ページ、３ページを見ると主な取組がアにあ
つてイに課題がある。では、課題を踏まえとはどのようなことを言っているのか。現状及び課題があ
り見直しを行って計画を策定する、これが筋ではないか。２ページ、３ページはそうのように読
めない。考え方が分かるような項目立てにしてもらい、内容を考えていただきたい。

浅野上田図書館長

２ページの第２のところについてはこれまでの主な取組課題のことで、これまでの現状の主
な取組を記載したつもりであつたが、そのあたりを項目立てに検討させていただきたい。

峯村教育長

次回の定例教育委員会会議でご意見をいただくので、さっそくこちらは検討してもらい、委
員の皆さんに検討結果を郵送してもらいたいと思う。

北沢委員

取組に対する課題に対しての施策が分かるようにしていただきたい。

峯村教育長

再検討をお願いしたい。
よろしいか。

○全員了承

(６) 寄付の状況(学校教育課 スポーツ推進課) 【説明なし】

○資料５－１ ５－２

(７) 行事共催等申請状況について(生涯学習・文化財課) 【説明なし】

○資料６

(８) ヤッホー６８号(生涯学習・文化財課) 【説明なし】

○資料７

(９) 公民館だより(各公民館) 【説明なし】

○資料８

峯村教育長

それでは、(６)から(９)までは説明がないが、ご意見ご質問等があればお出しいたさ
きたい。

横関委員

公民館だよりをいつも読ませていただいているが、この頃人権シリーズや人権コラム等、いろいろ想いが入っている公民館だよりが見られるがとてもよいと思う。逆に、ただ中止ですというような公民館だよりもあるが、やはり、公民館は何のためにあるのか。例えば、塩田公民館だよりは東信教育事務所の園部先生の人権の話を載せている。このようなことでも社会教育ができると思う。お知らせだけではなく、そのようなことも載せていただくと、人と人をつなぐ公民館になると思うので公民館でも考えていただきたい。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

先ほど申し上げたように、城南公民館の活動については次回に説明させていただく。

それでは以上をもって、12月の定例会会議を終了する。

○全員了承

閉 会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
